

持続可能な農業生産及び食料システムに関する共同文書

(仮訳)

2021年7月23日

我々、カンボジア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの農業担当大臣は、国連食料システムプレサミットの間において、持続可能な農業生産及び食料システムを達成することの重要性を共同で認識する。

アジア・モンスーン地域に属する国々として、我々は、農業生産に関して、高温多湿の気候条件、水田主体の農業、中小規模農家の割合の高さといった地域の特殊性を共有している。

これらの地域の特殊性を考慮し、我々は、持続可能な農業生産及び食料システム、並びにSDGsという目標を達成するために最大限の努力を払うつもりである。一方、化学農薬及び化学肥料の使用量の削減方策を含め、その目標に至るための万能（one-size-fits-all）な解決策はないことを認識する。

我々は、農業及び関連産業の分野において、特に中小零細農家にとって、イノベーションが持続可能な農業生産及び食料システムへの鍵であり、イノベーションを強化するためには民間部門の投資を促進する必要があることを確信している。

また、デジタルツール、機械化及び病虫害管理体系のような革新的・持続的な農業慣行や農業技術を導入するために国際的な協力は重要であり、我々は、生産性と環境保護のバランスをとるため、共同研究プロジェクトや既存の二国間及び複数国間の枠組みを通じた協力を促進し深化させることとした。

カンボジア ヴェーン・サコン農林水産大臣

日本 野上浩太郎農林水産大臣

ラオス ペット・ポムピパック農林大臣

マレーシア ロナルド・キアンディー農業・食産業大臣

フィリピン ウィリアム・ダール農業大臣

シンガポール グレース・フー持続可能性・環境大臣

タイ チャルムチャイ・シーオン農業・協同組合大臣

ベトナム レー・ミン・ホアン農業農村開発大臣